

いきいき広場

白岩ベースボールクラブ

2年連続で仙北市代表として、全日本学童軟式野球秋田県大会に出場する白岩小学校の学童野球チームを訪問しました。

メンバーは、3年生3人・4年生1人・5年生5人・6年生5人の合計14人の少数精鋭チームです。

キャプテンの草薮徹平君の将来の目標は「プロ野球選手です。練習の段階から気迫を込めて、相手を圧倒し全県優勝を目指します。」と意気込みを語ってくれました。

監督5年目の藤原茂樹さんは、金足農業高校野球部OBです。「小学生の監督として、野球の技術を教える前に、『人としてあたり前のことをあたり前にやる。』ことを強く指導している。」とのことでした。なるほど、私を出迎えてくれた子供たちの元気のいいあいさつの理由が分かりました。

親の会の会長兼コーチの草薮吉憲さんは、「監督が練習に来るまで、親の会が交代で練習を見守るのですが、今年は母親もスポ少認定者の資格を取得し、グラウンドに来てくれてるんですよ。」と、お母さんたちの協力に感謝していました。

仙北市予選大会の3試合を、すべて2ケタ得点のコールド勝ちで臨んだ秋田県大会でし

たが、初戦の岩見三内スポ少に3対5で惜しくも負けてしまいました。が…今日も、白岩コミュニティ運動広場から響き渡る子供たちの声が、白岩地区のみんなをとっても元気にしてくれています。

(高橋輝彦記)



■2年連続・仙北市予選大会優勝の白岩BC

控室

待ったなしの財源不足に 対処する

令和最初の定例会。農業に
関係する議員たちの朝の一言
が「雨降らないな」「水不足
でおらほの田んぼ大変だ他の
地区はどうだ」と、雨が降ら
ないための水不足を心配する
声が飛び交っていました。

幸い議会開会中に恵みの雨
が降り、ホットした雰囲気

流れました。

雨に関しては天の神様の気まぐれであり、地上の人たちではどうしようもないことですが、当仙北市の財政に関しては当局、議会、市民の皆様
の意見や提言により、現状の苦しい財政事情を変えられる。また、変えなければ仙北市は財政破綻をきたすのではと危惧されます。そうならな
いため我々議会としていつも以上に予算をしっかりと精査することが必要になります。

(小木田隆記)

編集後記

令和元年最初の議会での変化は、一般質問での担当部長
答弁が増えた事である。市長
が各部の原稿を読むより、部
課長の答弁により、進捗状況
や問題の核心に迫り、活発な
一般質問となった。但し、最
後の決断は市長が行なうこと
になるが今後の展開が楽しみ
である。

2つ目は、約2年9カ月ぶりに
会派代表者会議が開かれた事
である。新会派が結成され、
代表者の下でしっかりと意見
集約を行い、諸問題に対処し
ていく議会運営の骨格が整っ
たと思う。今後も、民意を反
映して分かりやすい記事を書
けるよう自覚し、編集委員一
同頑張っていきたい。

(熊谷一夫記)